

議会全員協議会 用地に2号地多目的グラウンドを押し付け またまた 迷走 ゴミ焼却場

なぜ2号地グラウンドにこだわる

1月28日、議会全員協議会が開かれました。今後の廃棄物処理施設のあり方に関する高浜市との協議会結果について「の報告がされました。日本共産党が12月議会で取り上げた焼却場のその後について論議がされました。碧南市と高浜市が5回協議を行なってきました。その中で、碧南市から4カ所、高浜市から3カ所のゴミ焼却場建設予定地の候補を出し合い、結論として2号地グラウンドにするとの報告がされました。

実施主体はだれか？

ゴミ焼却場の建替えは、もともと碧南市と高浜市がつくった一部事務組合の衣浦衛生組合が運営主体となるべきと、日本共産党は考えます。碧南市が、勝手に用地を決めることは筋が通りません。

燃やすのか燃やさないのか

12月議会では、香川県三豊市での「燃やさない」ゴミ処理方式が提案され、1月20日には、碧南市と高浜市が現地視察に行きました。用地を決める前に、基本的な「燃やすのか」「燃やさないのか」を決める必要があります。

公営か民営化か？

また今後の運営について、公営で行くのか民営にするのか決めていません。

高浜市の収集運搬費増額

衣浦臨海道路は、時間帯によって大渋滞となります。高浜市は距離が遠くなり収集運搬費が増額となることも予想されます。こうしたことは全く評価点数に入っていない。

これで議会承認にしないで

執行部は、この全協報告で「議会承認」が済んだとするのは、許容できません。

ゴミ焼却場の用地候補地		
碧南市 用地候補		
1	クリーンセンター衣浦周辺（広見町）	3ha
2	衣浦港2号地多目的グラウンド（港南市）	4～5ha
3	衣浦港4号地多目的グラウンド（玉津浦市）	3.8ha
4	西端市街化調整区域農地（島池町）	3ha
高浜市 用地候補		
1	新田市街化調整区域養鰻場（新田町）	3.5ha
2	流作新田貯木場跡地（市公有水面）	3.5ha
3	小池町市街化調整区域農地（小池町）	3ha

ZEH補助は戸・70万円×17件分
実施計画で実現するZEH補助（省エネ・再エネ・蓄電池への改修）は、1戸70万円×17件分となります。

結婚新生活支援事業は年齢制限、同姓婚はずし
2人とも29歳までは40万円。2人とも39歳までは20万円の現金支給の制度を、2025年度から創設。

県の制度です。「なんで年齢制限か」「西尾市では同姓婚も対象にしているのに、碧南市ははずす。不公平では」の意見もあります。

「出産奨励金か。子どもを生む生まないは個人の問題。実施するならばすべての結婚される方に補助すべきでは。」



新春のつどい 参議院選挙で勝利を

1月26日、市役所レストラン2階で日本共産党の新春のつどいが開かれました。年金者組合、9条の会、新日本婦人の会の方々から、平和を守る運動やくるくるバス拡充など市民運動の成果が報告され今年もがんばる決意を表明されました。

もとむら伸子衆議院議員は「しんぶん赤旗のスクープで風をおこし衆議院選挙で国会に送っていただいた。2議席減となり悔しい。しかし、自公勢力が過半数われになり憲法改悪が出来なくなった。今度は7月の参議院選挙で日本共産党を伸ばしていただき、参議院でも自公過半数われにし、くらしや平和を守りましょう」と訴えました。磯貝明彦議員は「築山保育園、大浜幼稚園を守るために門前ビラ各戸訪問してがんばっています」と。山口はるみ議員は「実施計画で、学校給食費無償化1学期。学校体育館空調設置が実現。自公の過半数割れで住民要求が実現した」と。みんなで参議院選挙勝利を決意しました。



フジテレビ問題 人権意識へのメディアの責任

異常!!長時間のメディア占拠

1月27日午後4時ごろから延々と垂れ流しされたフジテレビの記者会見に、だらしない大人の姿は子どもの教育上良くない。見たい番組が放映されず憤慨などの声があがっています。マスコミの地に堕ちた姿そのものでした。

赤旗「主張」から

1月29日付

どんな人気タレントや大企業でも、人権侵害を行ったり、性暴力疑惑にきちんと対応しなければ、社会的に許されないことを、フジテレビだけでなく業界や社会全体が知るべきです。

中居正広氏の女性への性加害疑惑をめぐり、フジテレビの幹部社員との関与が報じられた問題で27日、同社は2度目の会見を開きました。性暴力、人権に対する企業倫理と組織のあり方が問われています。

被害者を守らない企業姿勢

会見で説明された一連の経緯をみれば、会社として事件を把握した時点で、出演者である中居氏から女性への加害行為があったかを調査し、女性を守る対応をとる責任がありました。

誰への配慮なのか

しかし、港浩一社長は、大権侵害が行われた可能性のある事案「だとしながら、プライベート私的」ななかで、女性側がどういう気持ちになってしまったのかということ、人権問題を女性の気持ちの問題に矮小（わいしょう）化しました。

加害行為の疑いに対し毅然（きぜん）と対応する姿勢に欠けたことが、当初、中居氏に聞き取りをせず、出演番組を続けるという対応につながったといえます。

人権より営利優先

その理由として女性への配慮が強調されました。しかし被害者にすれば、会社が自分より中居氏へ

の配慮を優先していると感じ、傷つくことは十分考えられたはず。女性を守りつつ番組打ち切りなどをする方法はあったでしょう。結果として社の対応が女性に、深い失望を抱かせた」と同社も認めました。営利優先で人気番組打ち切り、視聴率への考慮があったのではないかと検証が必要で

問われる企業風土

重大なのは、この事件が同社の「企業風土」を背景としていることです。

当該事件の日の会食の設定に幹部社員が関わったことを同社は否定します。そうだとすると、女性が中居氏宅に行ったのは、同社内で行われてきた、女性アナウンサーなどを呼んでの会食の経験から、業務の一環だと考え断れないと思っただけです。

時代錯誤の女性軽視

しかし、同社は「事件の背景にあると考えられる」こうした会食のあり方を検証してきませんでした。それは、大権への認識が不足していたからだとし、企業風土の刷新に努めたいとのべました。企業風土とはと問われ、食事に女性アナウンサーを誘ったが、優位な立場にあり、女性にすれば参加せざるを得ないということだったかと思う。それをきちんとしないと刷新されない」と大権意識が時代から遅れている」としました。

フジグループ全体の検証と

トップの責任追及を

人権侵害を生まなかったために、中居氏の件にとどまらない検証が欠かせません。

会見で、フジ・メディア・ホールディングスの金光修社長は、フジサンケイグループの日枝久代表について「影響力は大きく、企業風土の礎をつくったのは間違いのない」と、遠因ということも含めて考えなければならぬ」とのべました。刷新」というなら、日枝氏の責任も検証すべきです。

参院選 比例はワンチームで

右から
はたやま和也（元衆院議員）
井上さとし（参院議員）
小池晃（書記局長）
山下よしき（副委員長）
白川よう子（元香川県議）

国会よりも優先。地に堕ちたメディア

テレビ局は公共の電波を預かるという公益性を持ち報道機関でもあります。再発防止に、とどまらず、社

日本共産党 参院愛知選挙区 すやま初美



大軍拡・大増税許すな

へきなん 19行動

2月19日（水曜日）

午前11時～12時

ピアゴ碧南東店

碧南市東浦町6-17

（日進小学校南）

日本共産党碧南市議団



市議会議員
山口はるみ
☎42-8940
三度山町 2-70-4



市議会議員
磯貝明彦
☎48-2718
若松町 3-253